

最新情報

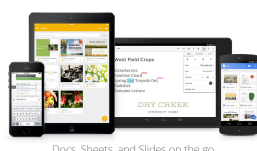
Google Apps

2016 年 5 月



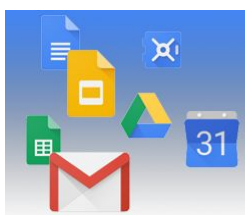
注目の機能: Google スライドの Q&A 機能

Google スライドでのプレゼンテーション中に、相手からの質問の受け付けが可能に



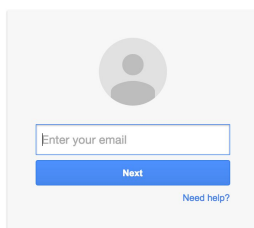
場所を選ばず作業できる

Google スプレッドシート モバイルアプリで画像への対応を強化
最新の Android 版 Google カレンダー アプリで、電話会議への参加が簡単に
オフライン時でも、モバイルで Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド ファイルを開く操作が簡単に



シンプルな使い勝手

ブラウザの Google カレンダー 予定通知機能で、作業を中断することなく予定にも留意
ウェブ版 Google カレンダーで、予定の開催場所が一目でわかるように
スプレッドシート上のグラフをドキュメントやスライドに埋め込み、ワンクリックで更新可能に



ビジネス対応

新しい Google コンタクトのプレビューで連絡先のインポート機能が利用可能に
管理コンソールのレポートの検索とフィルタ機能を改良
Google BigQuery と Google ドライブの統合
2048 ビット DKIM キーを使用した Gmail のデジタル署名
自社開発アプリと Google アプリ間の新しいデータ統合方法
Gmail のデータ損失防止に向けた新しい定義済み検出子
管理コンソールから管理対象端末の重要なアクティビティを監視



Google Apps についてのその他のお知らせ

Google Apps ラーニング センターが新たに 6 つの言語で利用可能に
Google for Work Connect (GWC) : Google Apps 管理者のコミュニティ
YouTube の The Apps Show
Google Apps 管理者向けの最新情報についての動画

より良いニュースレターをお届けできるよう、ご意見をお聞かせください。

-Google Apps チーム
2016 年 6 月 1 日

注目の機能: Google スライドの Q&A 機能

Google スライドでのプレゼンテーション中に、相手からの質問の受け付けが可能に

リリース日: 2016 年 5 月 4 日

 組織で共有

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: プレゼンテーションの経験に長けた方であれば、双方向に進めていく方法が効果的であることはよくご存知のことと思います。そこでこのたびのリリースでは、Google スライドでのプレゼンテーション中に相手に質問や投票をしてもらうことで、より効果的に聞き手を話に引き込むことができるようになりました。

こちらの動画（英語）では、Google Science Fair のグランプリ受賞者 Shree Bose さんが、この Q&A 機能を実際に使って 200 人の中学生グループからの質問に答える様子を見ることができます。



スライドの Q&A 機能をご利用の際は、次の点にご注意ください。

- この機能は、デスクトップパソコン、Android モバイル端末、iOS モバイル端末でご利用いただけます。
- この機能は、プレゼンターがスライドのプレゼンテーションに対し編集またはコメント権限がある場合のみ使用できます。
- 既定の設定では、ドメイン内のユーザーであれば誰でも質問を送信できます。組織が外部との共有を許可している場合は、外部のユーザーでも質問を送信できるよう設定することも可能です。

Google スライドでの質問の受け付け、送信、確認方法については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

なお、今回のリリースでは、Q&A 機能以外にも下記の機能を新たにご利用いただけるようになりました。

- **ウェブ版の Google スライドでは、マウスをレーザー ポインタとして使用できるようになりました。** ツールバーからレーザー ポインタ オプションを選択してマウスを動かすと、カーソルを合わせた場所にレーザーのような赤い点が表示されるので、プレゼンテーション中に注目してほしい場所をその都度知らせることができます。
- **iOS 版スライドアプリでは、新しいハングアウトを開始した場合や、Google カレンダーに設定済みの会議において、プレゼンテーションを表示できるようになりました。** 詳しくは[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

場所を選ばず作業できる

Google スプレッドシート モバイルアプリで画像への対応を強化

リリース日: 2016 年 5 月 4 日

 組織で共有

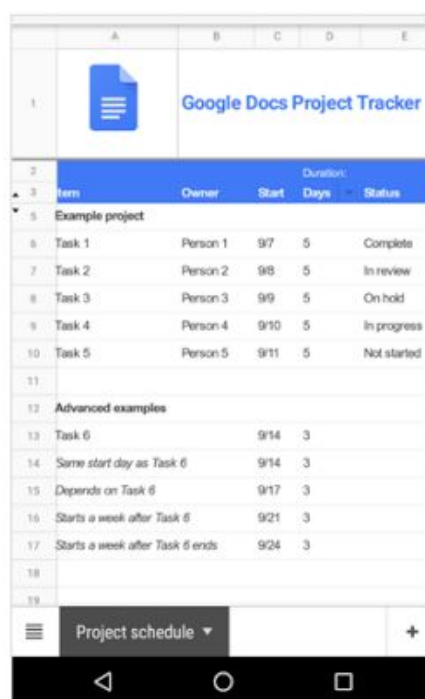
[- トップへ戻る -](#)

最新情報: 会社のロゴなどの画像は、スプレッドシートの仕上がりを大きく左右します。このため、Google スプレッドシート モバイルアプリがサポートする画像と図形描画機能について、次の改善を行いました。

- iPhone または iPad 上のスプレッドシート アプリで、画像と図形描画を表示できるようになりました。

	A	B	C	
1		Google Sheets Project		
2				
3	Item	Owner	Start	Days
4	Example project			
5	Task 1	Person 1	9/7	5
6	Task 2	Person 2	9/8	5
7	Task 3	Person 3	9/9	5
8	Task 4	Person 4	9/10	5
9	Task 5	Person 5	9/11	5
10				
11	Advanced examples			
12	Task 6		9/14	3
13	Same start day as Task 6		9/14	3
14	Depends on Task 6		9/17	3
15	Project schedule			

- これまで Android 版のスプレッドシート アプリでは、固定されたセルには画像を表示できませんでした。このたび、行や列が固定されている場合でも、画像や図形描画を表示できるようになりました。



	A	B	C	D	E
1		Google Docs Project Tracker			
2	Duration				
3	Item	Owner	Start	Days	Status
4	Example project				
5	Task 1	Person 1	9/7	5	Complete
6	Task 2	Person 2	9/8	5	In review
7	Task 3	Person 3	9/9	5	On hold
8	Task 4	Person 4	9/10	5	In progress
9	Task 5	Person 5	9/11	5	Not started
10	Advanced examples				
11	Task 6		9/14	3	
12	Same start day as Task 6		9/14	3	
13	Depends on Task 6		9/17	3	
14	Starts a week after Task 6		9/21	3	
15	Starts a week after Task 6 ends		9/24	3	
16	Project schedule				

Google スプレッドシート アプリは [App Store](#) と [Google Play](#) からダウンロード可能です。

最新の Android 版 Google カレンダー アプリで、電話会議への参加が簡単に

リリース日: 2016 年 5 月 11 日

 組織で共有

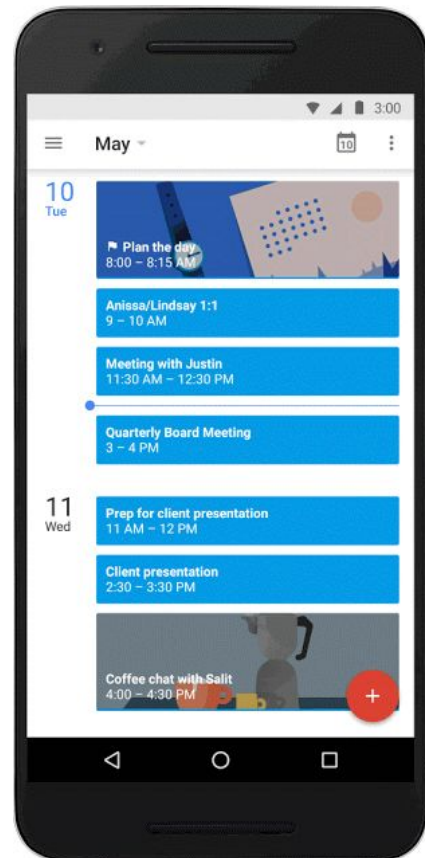
[- トップへ戻る -](#)

最新情報: Android 版 Google カレンダー アプリのアップデート版を、Google Play からダウンロードいただけるようになりました。

この最新版のアプリでは、電話会議に参加する際に、Google カレンダーに自動的にパスコードが追加されるようになりました。カレンダーの予定から会議の電話番号をタップすると、主催者や参加者に割り当てられたパスコードを選ぶ画面が表示されます。

注: Google カレンダーは、カレンダーの予定の場所またはメモ欄からパスコードや会議 ID を検出します。情報を検出できなかった場合には、これまでどおり、電話会議に参加する際のパスコードや会議 ID を手動で入力する必要があります。

最新の Google カレンダー アプリは [Google Play](#) からダウンロード可能です。



オフライン時でも、モバイルで Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド ファイルを開く操作が簡単に

リリース日: 2016 年 5 月 18 日

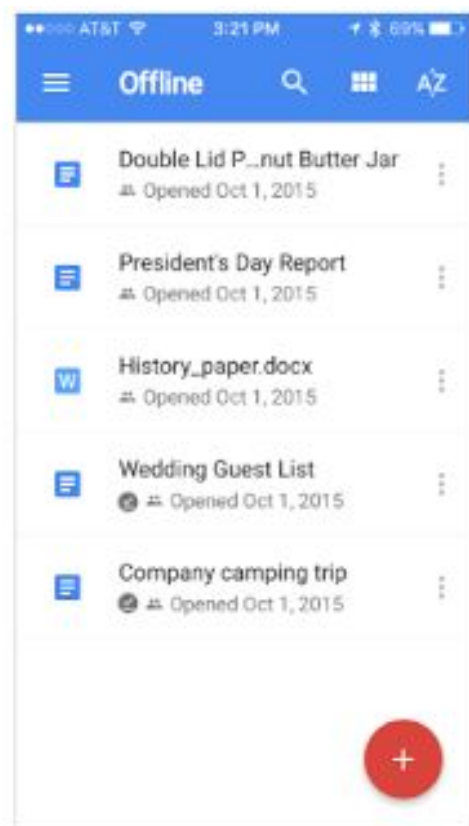
組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: スマートフォンを使って外出先で作業していると、インターネットの接続が不安定になることがあるかと思えます。そのようなときに限って、オフライン時に使用できるように設定していなかったファイルにアクセスしたいということが得てして起こります。そこでこのたびのリリースでは、オフライン時でも Android 端末や iOS 端末上で Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド ファイルを簡単に開けるよう、機能を改善しました。

最新版のドキュメント、スプレッドシート、スライドアプリでは、ファイルがモバイル端末に自動的に同期されるようになったため、インターネットに接続していない場合でも最新のファイルを開けるようになりました。ファイルが更新された場合や、スマートフォンやタブレットのストレージ容量が足りなくなる場合、古いファイルは端末から削除されます。各アプリのメニュー画面から **[端末内]** を選択するだけで、どのファイルが端末に保存されているかを確認したり、ファイルにアクセスしたりできます。この画面には、自動で同期されたファイルと手動で同期されたファイルの両方が表示されます。なお、手動で同期されたファイルには、ピンアイコンではなくチェックマークが付くようになりました。

最新のドキュメント、スプレッドシート、スライドアプリは、[Google Play](#) と [App Store](#) からダウンロード可能です。



シンプルな使い勝手

ブラウザの Google カレンダー予定通知機能で、作業を中断することなく予定にも留意

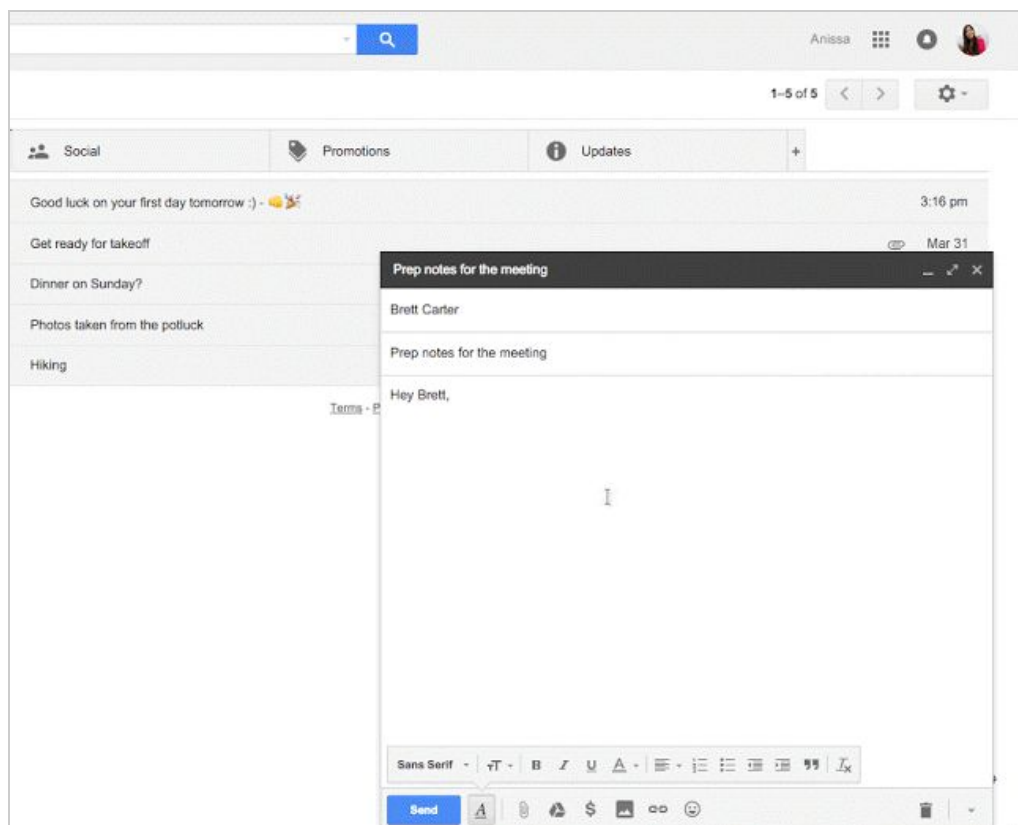
リリース日: 2016 年 5 月 10 日

組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: このたび、Lab 機能の「控えめな通知」が、完全にサポートされることになりました。

機能の概要: 「控えめな通知」を使うことで、次の会議予定の通知を受けながらも、別のタブで作業を続けられるようになりました。「控えめな通知」は、Google Chrome のような [Web Notifications](#)（英語）対応のブラウザに搭載されている通知機能を利用して、ユーザーの作業を遮ってしまいがちなアラートを表示することなく予定通知を行うことができるようにしたものです。



この新機能を使用するかどうかはユーザー自身で設定できますが、既存の Lab ユーザーに対しては自動的に有効になっています。使用する際には、Google カレンダーの設定メニューからブラウザ通知を有効にしてください。

詳しくは[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

ウェブ版 Google カレンダーで、予定の開催場所が一目でわかるように

リリース日: 2016 年 5 月 12 日

 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: ウェブ版 Google カレンダーでは、[日] または [週] のビューに、予定されている会議などの開催場所が表示されるようになりました。

機能の概要: この新機能により、スペースさえ許せばカレンダー自体に予定の開催場所が表示されるようになりました。そのため、毎回予定の詳細ページを確認する手間が省けるようになりました。たとえば下のカレンダーを見ると、「Global Sales Training（全社営業トレーニング）」が 43-1-R45 の建物で開催されることがわかります。



スプレッドシート上のグラフをドキュメントやスライドに埋め込み、 ワンクリックで更新可能に

リリース日: 2016 年 5 月 18 日

 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: データを示す際、グラフを使用すると視覚的にとらえやすくなり、説得力が増すことは周知の事実です。特に仕事においては、内容を確実に伝えるために、同じグラフを複数のドキュメントやプレゼンテーションで用いることもあるかと思います。その場合、グラフの内容に変更があると、すべてのファイルでグラフを置き換えるという面倒な作業が発生し、時間も多くなります。そこでこのたび、貴重な業務時間を無駄な作業に費やすことを防ぐため、ドキュメントやプレゼンテーションを開いたままワンクリックでグラフを更新できる機能をリリースしました。

この機能を使うには、まず、ウェブ版の Google ドキュメントまたはスライドで **[挿入] > [グラフ]** をクリックします。新しいグラフを挿入するか、**[スプレッドシートから]** を選択してグラフを追加します。**[スプレッドシートにリンク]** チェックボックスをオンにしておけば、Google スプレッドシート上の該当のグラフに変更があった場合、ワンクリックでグラフを更新するオプションが表示されます。このような特定のグラフに対する更新情報を受け取りたくない場合は、リンクを解除しておきます。コピーしたグラフをドキュメントやプレゼンテーションに貼り付ける場合にも、同じ機能が利用できます。

なお、リンクされたグラフのインポートまたは更新機能は、ドキュメント、プレゼンテーションまたはリンク元のスプレッドシートに対して共同作業者が編集権限を持っている場合にのみご利用いただけます。

ドキュメントやスライド ファイルへのグラフの挿入に関して詳しくは、[スライドにグラフを追加する、ドキュメントにグラフを追加する](#)の各ヘルプセンター記事をご覧ください。

ビジネス対応

新しい Google コントクトのプレビューで連絡先のインポート機能が利用可能に

リリース日: 2016 年 5 月 3 日

組織で共有

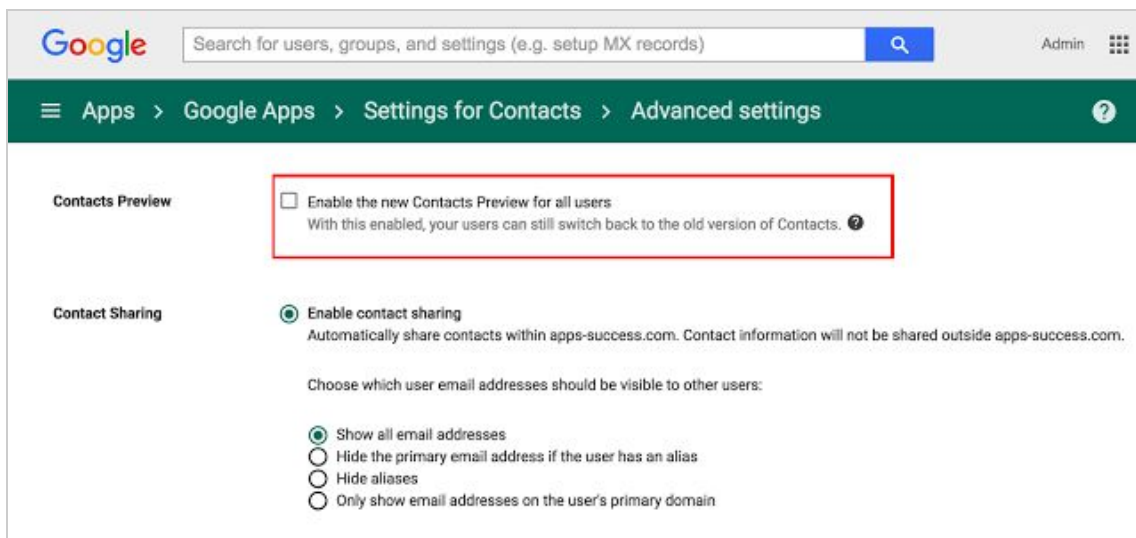
[- トップへ戻る -](#)

最新情報: 先日、管理コンソールの新しい Google コントクトのプレビュー版について発表しました。管理者がプレビューを有効にすることで、ユーザーは新しい Google コントクトを使えるようになり、新しい GUI や、インポートした連絡先の統合機能などを試せるようになります。

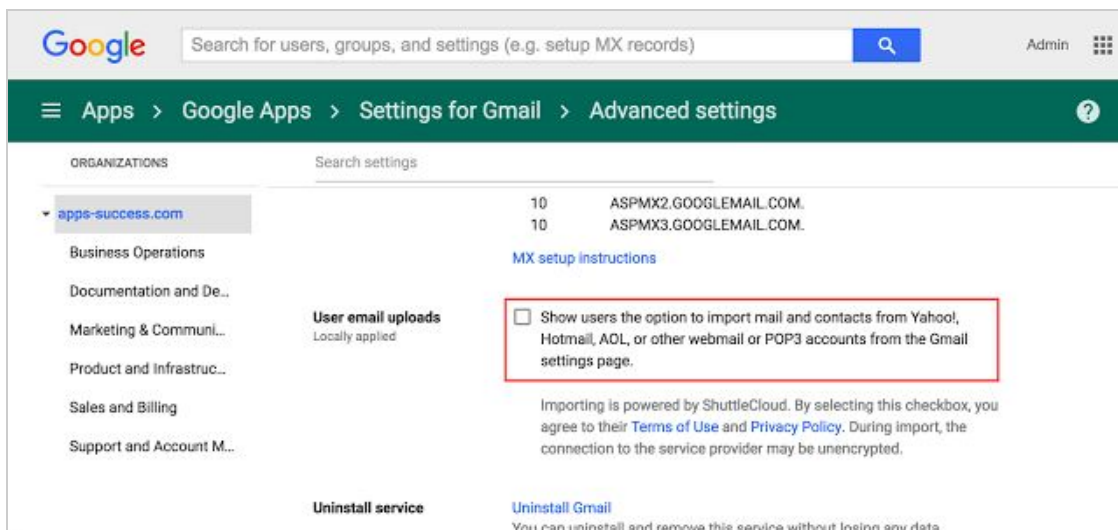
Google Apps をご利用の皆様から最も多く寄せられた声の 1 つが、「Google コントクトに連絡先を簡単にインポートしたい」というものでした。そこで、[ShuttleCloud](#)（英語）というサードパーティのサービスを使って、連絡先をインポートできるようにしました。

管理者が行う設定

- まず、[アプリ] > [Google Apps] > [連絡先] > [詳細設定] で、ユーザーに対し [コンタクトのプレビュー] を有効にします。



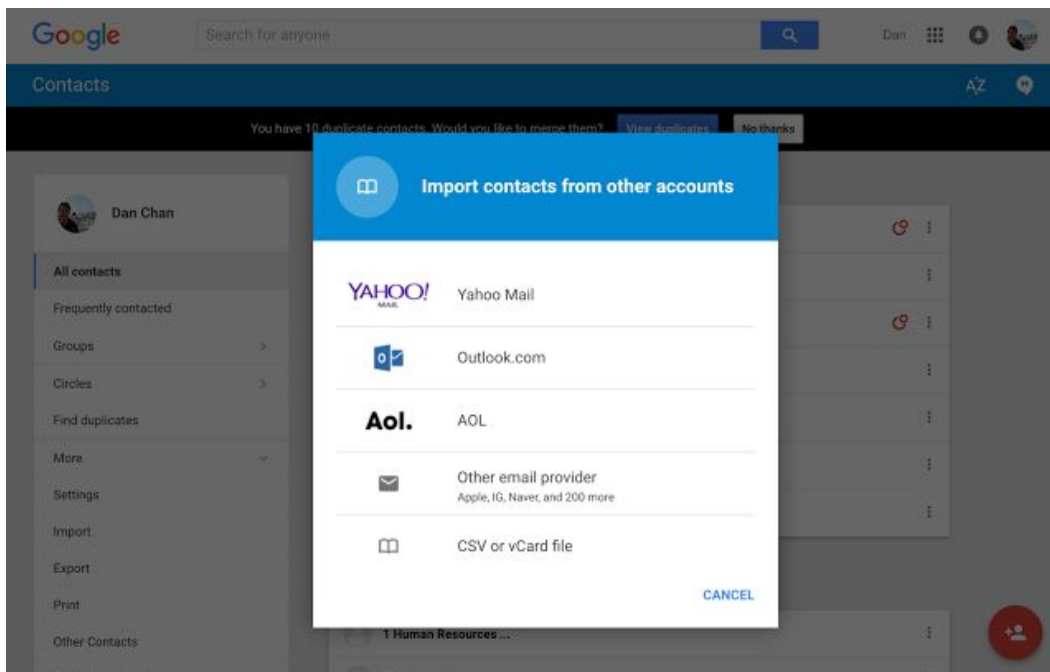
- 次に、[アプリ] > [Google Apps] > [Gmail] > [詳細設定] の [ユーザーメールのアップロード] も有効にします。



ユーザーのための使い方の概要

- サポート対象のさまざまなメールや連絡先ソースから連絡先をインポートできるようになりました。

- 新しい Google コントクトのプレビュー版から、[もっと見る]>[インポート] で、インポートしたいアカウントを選択します。
- アカウントのユーザー名とパスワードの入力を求められます。入力した情報が認証されると、連絡先のインポートが始まります。



- CSV ファイルから連絡先をインポートする場合は、上記のダイアログ ボックスで [CSV または vCard ファイル] をクリックし、[以前のコンタクトを開く] をクリックして連絡先管理ツールでインポート操作を続けます。

管理コンソールのレポートの検索とフィルタ機能を改良

リリース日: 2016 年 5 月 9 日

★ 管理者向けの機能

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: これまで皆様からお寄せいただいたフィードバックをもとに、管理コンソールの**監査レポート**の検索とフィルタの機能を改良しました。

機能の概要: これまでは、レポートの [フィルタ] 画面のいずれかの検索項目にクエリを入力すると、フィルタ画面からカーソルが離れた時点で自動的に検索が始まるため、しばしば混乱のもととなっていました。

そこでこのたび、検索をよりわかりやすく行えるように、フィルタ項目の下に **[検索]** ボタンを追加しました。今後、検索を開始するには、明示的にこのボタンをクリックする必要があります。この機能により、より迅速かつ簡単に重要なレポートを確認できるようになると考えています。

詳しくは[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

Filters

Event name

Logout

User name

user123 x

IP address

eg. 194.66.82.11

Login type

Select one

Date and time range

From

To

RESET

SEARCH

SET ALERT

Google BigQuery と Google ドライブの統合

リリース日: 2016 年 5 月 10 日

 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: Google BigQuery はサーバーを必要としない分析データ ウェアハウスで、ユーザーは使い慣れた SQL を使って大量のデータを分析し、重要なデータを得ることができます。BigQuery はフルマネージド サービスのため、機能の追加やアップグレードが頻繁に行われても、ダウンタイムやユーザー側の負担が生じません。今後も生産性や相互運用性を高める機能を皆様に提供していくとともに、BigQuery 自体の使いやすさもより追求していけるよう、チーム一丸となって取り組んでいます。



今月は BigQuery と Google ドライブ との統合を実現し、次のことができるようになりました。

- BigQuery のユーザー インターフェースから Google スプレッドシートにクエリの結果を直接保存
- BigQuery にファイルをあらかじめ読み込まなくても、Google ドライブからファイルのクエリを直接実行
- BigQuery から、Google スプレッドシートで編集中のファイルのクエリを実行

詳しくは、Google Cloud Platform Japan ブログの[投稿](#)をご覧ください。

2048 ビット DKIM キーを使用した Gmail のデジタル署名

リリース日: 2016 年 5 月 11 日

 管理者向けの機能

[- トップへ戻る -](#)



最新情報: DomainKey Identified Mail (DKIM) を Google Apps 管理者が設定できる機能を発表（英語）したのは 2011 年のことです。メールにデジタル署名を追加する技術である DKIM を使うことで、メールの送信元ドメインが改ざんのない正しいものであることを、受信サーバーが確認できるようになります。また、メールにデジタル署名を追加することで、必要なメールが誤って受信側で迷惑メールに振り分けられる事態も減らすことができます。

なりすましの手法は日を追うごとに巧妙になり、1024 ビットの DKIM キーでは十分に安全を保証できなくなっています。このため Google Apps では、2048 ビットの DKIM キーを使用してデジタル署名を追加できるようにしました。ドメインから送信されるすべてのメールに対して、2048 ビットのキーを設定していただくことを強くおすすめします。

推奨

- 現在 DKIM による Gmail のメール保護を行っていない場合は、管理コンソールから、2048 ビット DKIM を設定してください。手順については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。
- 現在 1024 ビットキーで DKIM をご利用いただいている場合は、2048 ビットキーに対応しているかどうかを DNS プロバイダに確認し、対応している場合は、ドメインキーをより安全な 2048 ビットのものに更新してください。

重要: 2048 ビット DKIM キーは公開から 30 年以上が経っていますが、一部のドメイン登録事業者では対応が進んでいません。このため、プルダウンから 1024 ビットキーを使用したメール署名も選択できるようにしています。

自社開発アプリと Google アプリ間の新しいデータ統合方法

リリース日: 2016 年 5 月 18 日

 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: かつてのデスクワークといえば、紙の書類を作ることに終始するものでした。パソコンや生産性向上ツールの登場によって少しは楽になってきたものの、さまざまなアプリケーションを使って同じ作業を繰り返さなければならないことには変わりはありません。たとえば CRM アプリケーションからプレゼンテーション用のスライドにデータをコピーして貼り付けたり、プロジェクト管理アプリケーションから

手動でデータを書き出して内容を調整し、スプレッドシートに読み込み直したり、といった具合です。結局のところ、紙で行っていたことが電子化したにすぎないのです。

そこでこのたび、アプリケーション間でデータをやりとりするわずらわしさをなくし、より効率的に仕事を進められるように、3つの新しいAPIをご用意しました。これで、データを必要に応じてどこでも取り出せるようになります。

新しい Sheets API や Slides API とのシームレスな統合

新しいAPIを使用することで、デベロッパー独自のアプリケーションとその内部のデータを、Google スプレッドシートや Google スライドとより綿密に連携させられるようになります。

新しい Sheets API では、スプレッドシートのウェブインターフェースやモバイルインターフェースで提供されているグラフやピボットテーブルといった機能に、プログラムでアクセスできます。たとえば、アプリケーションのデータをスプレッドシートにプッシュし、そのデータをユーザーが共同編集して、更新されたデータを元のアプリケーションに戻すことができるので、データをコピーして貼り付ける作業が不要になります。

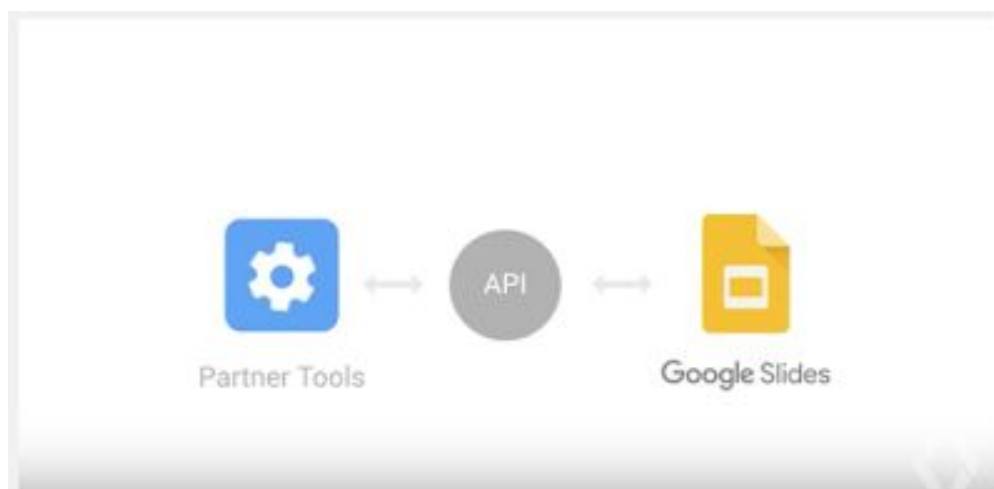
[Anaplan](#)（英語）、[Asana](#)（英語）、[Sage](#)（英語）、[Salesforce](#)（英語）、[SAP Anywhere](#)（英語）では早速、新しい Sheets API を利用した興味深い統合を進めています。どのような機能を実現できるのかについて、[こちらの動画](#)（英語）で実際の統合例を交えて簡単に紹介していますので、ぜひご覧ください。



新しい Sheets API は、既に提供を開始しています。デベロッパー用ドキュメントや、API の実際の使い方がわかる Codelab については、developers.google.com/sheets（英語）をご覧ください。

Sheets API と同様に、新しい Slides API を使用すると、プレゼンテーションをプログラムで作成、更新できるようになります。たとえば、データやグラフを Google スライドにプッシュし、他のアプリケーションのソースデータから見やすいレポートを作成してプレゼンテーションの資料として利用する、といったことが可能です。

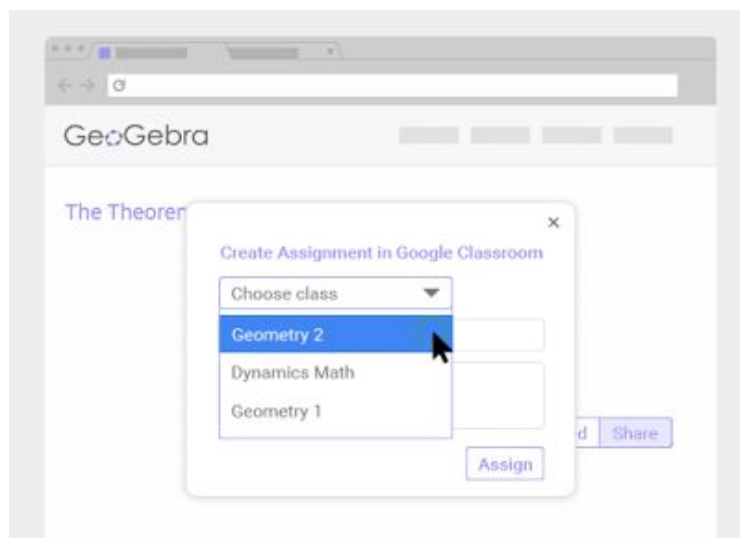
[Conga](#)（英語）、[ProsperWorks](#)（英語）、[SalesforceIQ](#)（英語）、[Trello](#) の各社が、新しい Slides API を使用して Google スライドとの統合を進めています。どのような機能を実現できるのかについて、[こちらの動画](#)（英語）で実際の統合例を交えて紹介していますので、ぜひご覧ください。



Slides API は数か月中に提供を開始し、それに続いて上記のパートナーが手がける統合機能も利用できるようになる予定です。Slides API への早期アクセスをご希望の場合は、developers.google.com/slides（英語）をご覧ください。

新しい Classroom API でデータを常に同期

Classroom API に新たな学習課題のエンドポイントが加わりました。教育機関向けのツールとワークフローを構築しているデベロッパーは、この API を利用することでデータを常に同期できるようになり、統合を強化できます。Google for Education ブログのお知らせの全文は、[こちら](#)（英語）でお読みいただけます。



新しい API をぜひご利用ください。

Gmail のデータ損失防止に向けた新しい定義済み検出子

リリース日: 2016 年 5 月 24 日

★ 管理者向けの機能

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: 今年の初めに、光学式文字認識やより柔軟なコンテンツ検出のしきい値の導入など、Gmail のデータ損失防止（DLP）機能の強化を行いました。これにより世界中の Google Apps Unlimited ユーザーが、誤ってデータを漏洩してしまうことのないよう、あらかじめ管理者の設定したコンテンツ ポリシーに基づいて、DLP を使用して自動的に送信メールをチェックできるようになりました。



今回のリリースでは、Gmail の DLP 機能をさらに強化するために、個人識別情報（PII）の定義済み検出子を新たにいくつか追加しました。追加した検出子は次のとおりです。

- メキシコ - パスポート番号
- メキシコ - CURP コード
- 韓国 - パスポート番号
- スペイン - パスポート番号
- ドイツ - パスポート番号
- 米国 - パスポート番号
- 中国 - パスポート番号
- カナダ - パスポート番号
- フランス - パスポート番号
- 日本 - パスポート番号
- 英国 - パスポート番号

注: Gmail の DLP 機能は、[Google Apps Unlimited](#) のお客様のみご利用いただけます。

詳しくは[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

管理コンソールから管理対象端末の重要なアクティビティを監視

リリース日: 2016 年 5 月 25 日

★ 管理者向けの機能

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: モバイル端末のセキュリティがますます重要になっている昨今、Google Apps 管理者の皆様が管理対象の端末で発生する重要なアクティビティを確認できるよう、機能を改良したいと考えました。そこで、[Google モバイル管理](#)で管理されている iOS 端末と Android 端末上のアクティビティを確認できる、「モバイル監査」をリリースしました。ここではモバイルアプリの変更、OS アップデート、端末設定の変更といったアクティビティが記録されます。

どのポリシーを有効にすべきか、あるいはどのような対応を行うかといった判断を行う際に、モバイル監査のデータが参考になります。たとえばユーザーが端末を紛失した場合、これまでであれば、まず管理者としてできる対応は、その端末のデータをワイプすることくらいであったと思いますが、これからは、モバイル監査で端末の監査記録を確認することで、さらに詳しく対応を検討できるようになります。たとえば、端末へのログイン失敗やシリアル番号の変更などの疑わしいアクティビティを見つけたら、端末をワイプせずにブロックするのも 1 つの方法です。

管理コンソールの [レポート] ページからすべての監査イベントを確認することができ、イベント名、端末 ID、ユーザー名、日付と時刻でイベントをフィルタすることもできます。さらに、「アラート」を設定しておけば、端末上で特定のアクティビティが発生した際に通知を受け取ることも可能です。

Google

Search for users, groups, and settings (e.g. drive sharing settings)

Ajay

Reports > Mobile Devices

Filters

Event name

Select one

User name

Device Id

Date and time range

From

To

SET ALERT

Device Id	Event Description	Date	Event Name
3cc8510d2e373806	Kavitha Nalluri's account registered on Nexus 7 with device administrator privilege	Apr 26 8:24 PM	Account registrati
3cc8510d2e373806	Kavitha Nalluri's account unregistered from Nexus 7 with device administrator privilege	Apr 26 8:09 PM	Account registrati
4968232460605310735	Naveen Ippilli's account unregistered from Android SDK built for x86 -	Apr 26 7:37 PM	Account registrati
4968232460605310735	Naveen Ippilli's account registered on Android SDK built for x86 -	Apr 26 7:37 PM	Account registrati
5849812264367668375	Naveen Ippilli's account unregistered from Android SDK built for x86 -	Apr 26 5:29 PM	Account registrati
5849812264367668375	Naveen Ippilli's account registered on Android SDK built for x86 -	Apr 26 5:29 PM	Account registrati
3cc8510d2e373806	Kavitha Nalluri's account registered on Nexus 7 -	Apr 26 4:57 PM	Account registrati
3cc8510d2e373806	Kavitha Nalluri's account registered on Nexus 7 -	Apr 26 4:57 PM	Account registrati
3cc8510d2e373806	Kavitha Nalluri's account registered on Nexus 7 -	Apr 26 4:50 PM	Account registrati
3cc8510d2e373806	Kavitha Nalluri's account registered on Nexus 7 -	Apr 26 4:50 PM	Account registrati
5788666196718630667	Naveen Ippilli's account unregistered from Android SDK built for x86 -	Apr 26 4:46 PM	Account registrati
5788666196718630667	Naveen Ippilli's account registered on Android SDK built for x86 -	Apr 26 4:46 PM	Account registrati
8625426957148699721	Naveen Ippilli's account unregistered from Android SDK built for x86 -	Apr 26 4:06 PM	Account registrati
8625426957148699721	Naveen Ippilli's account registered on Android SDK built for x86 -	Apr 26 4:06 PM	Account registrati
8345007780341598259	Naveen Ippilli's account unregistered from Android SDK built for x86 -	Apr 26 4:05 PM	Account registrati
8345007780341598259	Naveen Ippilli's account registered on Android SDK built for x86 -	Apr 26 4:04 PM	Account registrati
2208815427175230528	Naveen Ippilli's account unregistered from Android SDK built for x86 -	Apr 26 4:03 PM	Account registrati
2208815427175230528	Naveen Ippilli's account registered on Android SDK built for x86 -	Apr 26 4:02 PM	Account registrati
3024230059534043821	Naveen Ippilli's account unregistered from Android SDK built for x86 -	Apr 26 1:12 PM	

SEND FEEDBACK

モバイル監査の機能、および監査されるイベントの一覧については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

注:

- 監査の対象となるのは、Google Apps Unlimited ライセンス（Google Apps for Education を除く）を契約しているユーザーのモバイル端末でのイベントのみです。
- このリリースは段階的に導入され、数週間以内にすべての Google Apps Unlimited ユーザーが利用できるようになります。

Google Apps についてのその他のお知らせ

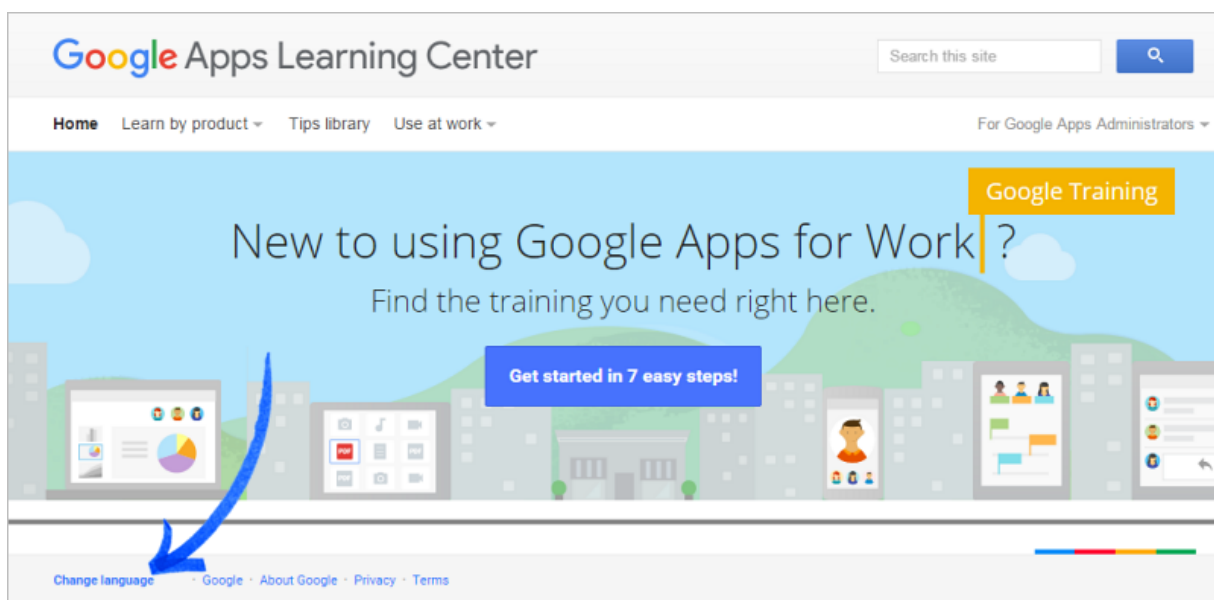
Google Apps ラーニング センターが新たに 6 つの言語で利用可能に

🔗 組織で共有

- [トップへ戻](#)

る -

最新情報: Google Apps ラーニング センターが更新され、新たにドイツ語、イタリア語、オランダ語、ロシア語、韓国語、中国語（繁体）の 6 つの言語でも利用できるようになりました。新しいユーザーや競合他社サービスから移行されたお客様に向けた各言語でのガイド、サービスのデータシート、ヒント集、活用法のトップ 10 リストをぜひご覧ください。



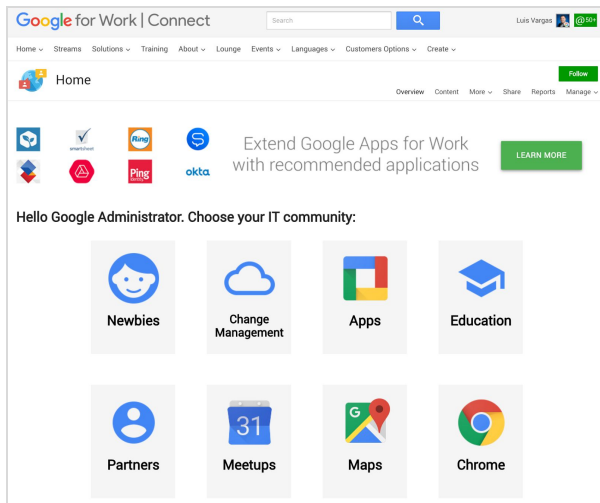
言語を変更するには、ページの下部までスクロールしてフッターにある [Change language] をクリックするか、次の各言語のサイトへのリンクをユーザーにお伝えください。

- 英語: <https://apps.google.com/learning-center/>
- 中国語（繁体）: <https://apps.google.com.tw/learning-center/>
- オランダ語: <https://apps.google.nl/learning-center/>
- フランス語: <https://apps.google.fr/learning-center/>
- ドイツ語: <https://apps.google.de/learning-center/>
- イタリア語: <https://apps.google.it/learning-center/>
- 日本語: <https://apps.google.jp/learning-center/>
- 韓国語: <https://apps.google.co.kr/learning-center/>
- ポルトガル語（ブラジル）: <https://apps.google.com.br/learning-center/>
- ロシア語: <https://apps.google.ru/learning-center/>
- スペイン語: <https://apps.google.es/learning-center/>

Google for Work Connect（GWC）：Google Apps 管理者のための公式コミュニティ

★ 管理者向けリソース

[- トップへ戻る -](#)



今すぐログイン: Google for Work Connect（GWC）には、Google Apps で仕事をより進めやすくするためのあらゆるリソースが揃っていますので、ぜひ[ログイン](#)してみてください。他企業の IT 管理者や Google 社員と、おすすめの Apps 使用法についてディスカッションしたり、不明点を質問するといったことが可能です。また、[コミュニティ マネージャーの Luis Vargas をフォロー](#)すると、最新情報を毎週入手できます。

最新情報: 5 月は引き続き 2016 年第 2 四半期エディトリアル カレンダーに沿って、「[リソースの効果的な管理](#)」方法や「[帯域幅を制限してハングアウトを最適な環境で使用する](#)」方法（ともに英語のみ）などのトピックを含む、4 つの新しい活用例を追加しました。

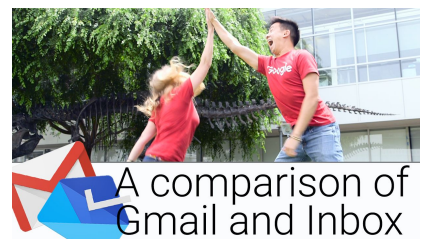
5 月の「チェンジ マネジメント」ブログには、ゲストの Kate Johnson が「[共同編集という文化](#)（英語）」を投稿してくれています。6 月には、ドキュメント、スプレッドシート、スライドのテンプレート、Google Cloud Platform、Google ドライブの活用例をご紹介します。

すべての Google Apps のお客様向け: The Apps Show を YouTube で毎週火曜日午前 11 時（米国太平洋標準時）に公開

🌐 組織で共有

[- トップへ戻る](#)

最新情報: 5 月は引き続き、Google Apps を使用してよりシンプルかつスマートに作業を進める方法を視聴者の皆様にご紹介しました。[Android for Work](#) に関する番組では、個人用のモバイル端末から作業することがいかに簡単になったかについて説明しました。また、Chrome for Work と Android for Work のディレクターに[インタビュー](#)し、現時点および今後に向けた Google の構想について話を聞きました。



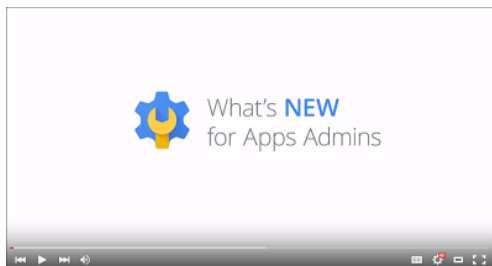
皆様によりスマートに、より迅速に作業していただけるよう、[Google テンプレート](#)に関する番組もご紹介しました。ここでは本格的でデザイン性の高いテンプレートを使って新しいドキュメントを効率よく作成する方法についてご覧いただけます。なお最後になりますが、Inbox に切り替えるか、Gmail を使用し続けるか迷われている場合には、[Inbox と Gmail についてのエピソード](#)をご覧くださいと、仕事の生産性を高める上でどちらのアプリがより効果的かを判断する際の参考になります。

皆様にお願: ご覧いただいたエピソードの中に役に立つものがありましたら、ぜひ皆様の友だちや職場の皆様にもお知らせください。The Apps Show の[YouTube 再生リスト](#)や[エピソードギャラリー](#)（英語）をぜひブックマークに登録し、最新情報をご確認ください。

Google Apps 管理者向けの最新情報の動画

★ 管理者向けリソース

[- トップへ戻る -](#)



最新情報: Google Apps 管理者向けの最新情報についての動画では、前月にリリースした Google Apps 管理者向けのすべての機能をまとめて紹介しています。ご自由に閲覧・共有を行っていただけます。

使い方: [YouTube の再生リスト](#)をブックマークに登録し、毎月の新着動画をチェックします。「新機能」サイトの[アーカイブ](#)ですべての録画をご覧いただけます。

ニュースレターをお読みいただき、ありがとうございました。
より良いニュースレターをお届けするために、ぜひ皆様のご意見をお寄せください。